

令和 5 年 第 1 2 回

教育委員会臨時会会議録

とき 令和 5 年 1 0 月 1 7 日

品川区教育委員会

令和5年第12回教育委員会臨時会

日 時 令和5年10月17日（火） 開会：午後2時
閉会：午後3時45分

場 所 教育委員会

出席委員 教 育 長 伊崎 みゆき
教育長職務代理者 吉村 潔
委 員 海沼 マリ子
委 員 塚田 成四郎
委 員 稲垣 百合恵

出席理事者 教 育 次 長 米田 博
庶 務 課 長 宮尾 裕介
学 務 課 長 柏木 通
指 導 課 長 中谷 愛
教育総合支援センター長 丸谷 大輔
特別支援教育担当課長 唐澤 好彦
品川図書館長 吉田 義信
学校施設担当課長 森 雄治
統括指導主事 升屋 友和
統括指導主事 齊藤 隆光

事務局職員 庶 務 係 長 菅野 祐輝
書 記 藤沼 真也子
書 記 田島 希望

傍 聴 人 数 2名

そ の 他 品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、会議の一部を非公開とした。

次第

- 報告事項 1 教育委員の任命同意について
- 協議事項 1 委員の議席について
- 第 63 号議案 学校教育職員（固有教員）の任免等について（産育代替・任用）
- 協議事項 2 12 月補正予算について
- 協議事項 3 令和 6 年度予算要求について
- 報告事項 2 第 3 回品川区学事制度審議会の実施報告について
- 報告事項 3 令和 5 年度感染症による臨時休業措置状況
- 報告事項 4 教職員の任免等について（退職）
- 報告事項 5 教職員の任免等について（休職）
- 報告事項 6 令和 5 年度（6 年度採用）品川区立学校教育職員採用候補者選考状況について
- 報告事項 7 令和 5 年度品川区学力定着度調査および令和 5 年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 報告事項 8 いじめの重大事態の発生について

令和5年第12回教育委員会臨時会

令和5年10月17日

【教育長】 ただいまから、令和5年第12回教育委員会臨時会を開会いたします。

署名委員に、吉村教育長職務代理者、海沼委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本日は傍聴の方がおられますので、お知らせいたします。

初めに、会議の持ち方についてですが、日程第3、第63号議案、学校教育職員（固有教員）の任免等について（産育代替・任用）。日程第5、報告事項4、教職員の任免等について（退職）。日程第5、報告事項5、教職員の任免等について（休職）。日程第5、報告事項6、令和5年度（6年度採用）、品川区立学校教育職員採用候補者選考状況について。本件は、人事に関する案件ですので、品川区教育委員会会議規則14条の規定に基づき非公開の会議といたしますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

【教育長】 異議なしと認め、本件については全ての日程の終了後に審議いたします。

それでは、本日の議題になります。

日程第1、報告事項1、教育委員の任命同意について、説明をお願いします。

庶務課長。

【庶務課長】 それでは、私から、教育委員の任命同意について御説明を申し上げます。恐れ入ります、資料の1をお手元に御用意をいただければと思います。

去る9月22日に開催されました区議会本会議におきまして、区長から、稲垣百合恵委員の任命同意について、区議会に諮り、同日に可決をされました。

その後、区長から稲垣委員へ、教育委員任命の発令が行われましたことをこちらに御報告をするものでございます。

資料は、表面に認証の入った議案の写しがございます。裏面には、稲垣委員の履歴書を掲載させていただいております。なお、稲垣委員の議席でございますが、現在のところ、暫定的にこのように座っていただいておりますが、この後、御審議をお願いする予定でございます。

私からの説明は以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。

それでは、稲垣委員から一言御挨拶をお願いいたします。

【稲垣委員】 ただいま御紹介いただきました稲垣百合恵でございます。

品川区立の日野学園のほうに8年、6年、3年生の3人の子供がお世話になっております。保護者として、学校PTAの執行役員を務めておりますほか、地域の子育て支援団体として、学校を離れた場での子供たちの学び、遊びにも関わってまいりました。学校の現状や保護者の声、子供たちの様子など、生きた情報を品川区の教育行政へと役立てていければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【教育長】 よろしく申し上げます。質疑はありますか。

（「ありません」の声あり）

【教育長】 では、教育委員の任命同意について、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 では、本件は了承いたします。

それでは次に、日程第2、協議事項1、委員の議席について、説明をお願いします。

庶務課長。

【庶務課長】 それでは、続けて私から委員の議席についてを御説明申し上げます。

恐れ入ります。資料の2をお手元に御用意をいただければと思います。

本件は、教育委員会会議規則第6条に基づきまして、本会にお諮りをするものでございます。資料には案をお示ししてございます。

稲垣委員の就任に伴いまして、同委員の席を資料の⑤のところに、また、これに伴いまして、吉村教育長職務代理者の席を②の位置にそれぞれ議席案としてございます。

説明は以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。質疑はございますか。

（「ありません」の声あり）

【教育長】 委員の議席については、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【教育長】 それでは、異議なしと認めましてそのように決定いたします。

次に、日程第4、協議事項2、12月補正予算について。本件は、区の事務事業に係る意思形成過程における案件ですが、事務局としては会議の扱いについて、どのように考えますか。

庶務課長。

【庶務課長】 12月の補正予算について、につきましては区議会の議決前の案件でございます。したがって、公正または適正な意思決定を確保するという観点から、非公開の会議とすることが適切であるというふうに判断をいたします。

【教育長】 庶務課長より説明がありました。

本件は、品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、非公開の会議とし、会議日程を変更し、全ての会議の終了後に会議を開くこととしますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【教育長】 異議なしと認め、本件については、そのように決定いたしました。

次に、日程第4、協議事項3、令和6年度予算要求について。本件は、区の事務事業に係る意思形成過程における案件ですが、事務局としては会議の扱いについて、どのように考えますか。

庶務課長。

【庶務課長】 令和6年度予算要求について、につきましても、区議会の議決前の案件でございます。したがって、公正または適正な意思決定を確保する観点から、非公開の会議とすることが適切であるというふうに判断をいたします。

【教育長】 庶務課長より説明がありました。本件は品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、非公開の会議とし、会議日程を変更し、全ての会議の終了後に、会議を開くこととしますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【教育長】 異議なしと認め、本件については、そのように決定しました。

次に、日程第5、報告事項2、第3回品川区学事制度審議会の実施報告について。本件は、区の事務事業に係る意思形成過程における案件ですが、事務局としては会議の扱いについて、どのように考えますか。

学務課長。

【学務課長】 第3回品川区学事制度審議会の実施報告について、につきましては、当該審議会が非公開で開催されております。また、審議途中の内容が具体的に公開されることで、様々な臆測を呼び、区民や地域に混乱をもたらすおそれがございます。したがって、公正または適正な意思決定を確保する観点から、非公開の会議とすることが適切であると判断いたします。

【教育長】 学務課長より説明がありました。

本件は、品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、非公開の会議とし、会議日程を変更し、全ての会議の終了後に会議を開くこととしますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【教育長】 異議なしと認め、本件については、そのように決定しました。

次に、日程第5、報告事項3、令和5年度感染症による臨時休業措置状況、説明をお願いします。

学務課長。

【学務課長】 それでは、令和5年度感染症による臨時休業措置状況について御説明をいたします。資料は8となります。

臨時休業の措置状況でございますが、前回、6月13日に一度報告をさせていただいております。その後、インフルエンザ等に関わります臨時休業が発生してございますが、2学期で9月21日に、東京都のほうから、都内のインフルエンザ流行注意報というのが出されてございます。

品川区立の学校につきましても、それ以降、9月25日の週から、臨時休業の措置、いわゆる学級閉鎖等が急増してございますので、改めて御報告をさせていただきたいと思っております。

資料のほう、表を御覧いただいて、左側のほうがインフルエンザによる学級閉鎖の学校数、学級数でございます。こちらは、10月3日までの措置分となっておりますが、一番下の学校数の延べでございますが、28校で31学級の学級閉鎖がございます。令和5年度の累計といたしましては、学校数は延べ72校、学級数は91学級となっております。

右側、新型コロナウイルスの感染症による学級閉鎖は、一番下、2学期では8校で12学級、累計では延べ11校、15学級となっております。こちらのほう、インフルエンザのほうは10月3日までとなっておりますが、これ以降も学級閉鎖が非常に増えている状況でございます。25日の週から、毎週、大体20学級ぐらいが学級閉鎖となっている状況でございます。こちらの状況ですが、インフルエンザの状況にもよりますけれども、しばらくはこのまま続くのかなと感じているところでございます。

以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。質疑はございますか。

稲垣委員。

【稲垣委員】 インフルエンザ、去年のこのくらいの時期の感染状況というのがどうだったかなと、少しお伺いしたいのと、あと、今マスクをしないということになっていると思うんですが、せきや鼻を出している子にはマスクをしてくださいねというくらいの軽い御案内ができれば、少し感染状況がましになるんじゃないかなと思います。その辺の難しいのかなというところをちょっと教えていただければと思います。

【教育長】 学務課長。

【学務課長】 去年のインフルエンザの状況でございますが、昨年度1年間で、インフルエンザで休校した学校は延べで35校でございます。ちなみに、コロナがはやってありました令和2年度、3年度というのはゼロでした。

ちょっと遡って見たんですが、多かったのが平成29年度。ただ、こちらも年度で延べ85校ということで、現在、大体、延べで79校がインフルエンザによる学級閉鎖を実施しておりますので、もう29年度は超えるだろうというところでございます。

それとマスク等の着用についてですが、まず10月4日に校長・園長連絡会がございまして、こちらのほうで私のほうから基本的な感染予防について、校長たちに周知をしたところでございます。基本的な感染防止対策でございますが、手洗いですとか換気、あと、せきエチケット等でございます。

学校におきましても、せきをしているとか、風邪の症状があるという場合については、マスクの着用をお願いするということもあると考えてございます。

【教育長】 よろしいでしょうか。

【稲垣委員】 ありがとうございます。

【教育長】 ほかにありますか。

では、令和5年度感染症による臨時休業措置状況について、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】 では、本件は了承いたします。

次に、日程第5、報告事項7、令和5年度品川区学力定着度調査及び令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、説明をお願いします。

指導課長。

【指導課長】 私からは、令和5年度品川区学力定着度調査及び令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について御報告をいたします。

資料12を御覧ください。それでは、各調査結果について、個別に説明をまいります。まず初めに、品川区学力定着度調査について説明をいたします。資料の1枚目を御覧ください。

1、調査日から、4、調査の内容についてです。今年度は、令和5年4月13日に区立の小学校31校、中学校9校、義務教育学校6校の第2学年から第9学年において実施いたしました。

第2、第3学年は、国語と算数の2教科。第4、第5学年はそこに社会と理科を加えた4教科。第6学年から第9学年は、さらに英語を加えた5教科の調査となっております。内容としては、前年度までに学習をした内容となっており、その定着度を測る調査となっております。教科に関する調査のほか、生活習慣や学習習慣に関する調査を実施しており

ます。

次に、資料上段右。5、各教科の平均正答率についてです。各表の右側が、全国の平均正答率、左側が品川区の平均正答率となっております。また、黄色のマスは、区の平均正答率が全国を上回った教科。ピンクのマスは、区の平均正答率が全国を下回った教科を示しています。

小学校・義務教育学校（前期課程）においては、昨年度同様、全学年全教科で全国の正答率を上回りました。

中学校・義務教育学校（後期課程）については、社会が第8、9学年、理科が第7、8学年で全国の正答率を下回り課題があることが分かります。社会においては、昨年度の第7、8学年に引き続き、全国の正答率を下回っています。

次に、資料の中段。6、教科に関する調査の結果概要についてです。品川区の正答率分布を正答率の上位層から、人数分布、25%ずつAからDの4つの層を点線で分けました。また、赤の数字は教科の目標値になります。こちらは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、児童・生徒が正答できることを期待した値になります。

例として、第5学年の各教科の正答率分布を示しています。この結果から、いずれの教科も、A、B層は、目標値に達していることが分かります。

第7学年から第9学年では、社会の正答分布をグラフで示しました。このグラフから、どの学年もA層は目標値に達しておりますが、B層から目標値に達していない生徒がいることが分かります。理科においてもこの傾向となっております。

次に、資料下段右に、課題の見られる問題例を示しています。第9学年の江戸時代の問題を掲載しています。この問題の正答率は、全国値19.3%に対して、区は14.9%と下回り、目標値には達していません。また、この問題は無回答率が46.4%であることから、まずは、回答する上で、時代の変化の特色を押さえる必要があります。そこから、基礎的、基本的な「知識及び技能」を身に付けることが必要になってきております。

次に裏面を御覧ください。

質問紙と正答率のクロス集計を行いました。学習指導要領では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力の育成を目指しております。この資質・能力を育むためには、各学校において、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの授業改善の推進が必要となります。

クロス集計では、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの授業改善に関連した質問を抽出しております。

資料上段左側を御覧ください。「どの教科でも、自分の考えを発表する機会がありますか」についての、第6学年児童及び第9学年生徒の回答と正答率とのクロス集計です。どの教科においても、自分の考えを発表する機会があると回答している児童生徒ほど正答率が高い傾向があります。

次に、資料上段右側を御覧ください。「どの教科でも、学習したことを振り返る活動を行っていると思いますか」についての、第6学年児童及び第9学年生徒の回答と正答率とのクロス集計です。こちらも、どの教科でも、学習したことを振り返る活動を行っていると思うと回答している児童生徒ほど正答率が高い傾向があります。

資料下段を御覧ください。例えば、国語では話し合い、社会では資料を使って自分の考えをまとめるなど、各教科における、児童生徒が主体となって行う活動と正答率とのクロス集計です。どの教科においても、主体的な学習をし実施していると考えられる児童生徒ほど正答率が高い傾向がうかがえます。

今後は、単元や1単位時間の中での課題の設定や、その解決に向けての、自分自身で考えたりすること、その考えを表現する機会を設けたりすることなど、学習活動の質のさらなる向上を図ってまいります。

続きまして、資料の3枚目と4枚目でございますが、全学年、全教科の結果を掲載いたしました。各学校が、自校の分布に照らし合わせて課題を見いだし授業改善に向けて取り組んでいきます。

続きまして、全国学力・学習状況調査の結果について、説明をいたします。5枚目を御覧ください。

1、調査日から4、調査内容についてです。本調査は、令和5年4月18日に、第6学年と第9学年で実施をいたしました。第6学年が国語、算数。第9学年が国語、数学、英語の実施です。

資料上段右側、5、各教科の平均正答率を御覧ください。第6学年も第9学年も全国、東京都の平均正答率を上回る結果となっております。資料中段、6、教科に関する調査の結果概要を御覧ください。グラフは、品川区の正答数の分布に、全国と東京都の正答数分布を重ねたものとなっております。

下の表は、東京都の四分位における全国と品川区の各層の割合を示しております。このグラフや表から、第6学年、第9学年ともに、A層の割合が、東京都や全国に比べて高いこと、第6学年、第9学年ともに、D層の割合は、東京都や全国に比べて低いことが分かります。

資料左側左下。7、成果が見られる質問を御覧ください。生徒質問紙において、「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」という質問に対し、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、と答える生徒の割合が約9割となっており、東京都や全国の値を上回っております。

また、「1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」という質問に対し、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、と答える生徒の割合が約7割となっており、東京都や全国の値を上回っております。今後も授業の中で工夫をし、より充実させてまいります。

最後に、右下8、中学校英語「話すこと」について、課題が見られた問題を御覧ください。環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話すという問題になります。

この問題の品川区の正答率は、7.1%、無回答率は10.8%でした。こちらの問題の正答の条件は、①、話し手の意見に対する自分の考えを伝えている、②、①の理由について伝えているとなります。

誤答例のように、条件の①と②を満たさないで回答した生徒の割合は約5割でした。話

し手の意見に対する自分の考えを話しておらず、与えられた話題について、グラフの説明や自分の感想のみを話している。または、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身についていないなどが考えられます。

学習指導に当たっては、聞いたことを話す際に、話される内容を理解した上で、聞いて得た知識や情報について、自分の考えやその理由を整理し、既習の表現などを活用して、相手に伝わるように話すことが重要となります。今後の指導に当たっては、このことについて意識ができるように授業改善を進めてまいります。

以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。

質疑の前に、私からこの調査の位置づけを再確認したいのですが、調査が2つありますよね。それぞれ、これは国の調査なのかどういう調査なのか、この2つの調査の違いを説明していただけますか。

指導課長。

【指導課長】 御説明さしあげた調査は2つございまして、前半が、品川区学力定着度調査になりまして、こちらについては民間の学力調査に参加をしているというふうになります。ですので、全ての学年のお子さんたちが受けるものではないというところになります。

後半の全国学力・学習状況調査、こちらにつきましては、国が必ず受けるというところで求めている調査でございまして、こちらは、品川区の公立学校の当該のお子さんたちが全て受けているというものになります。

以上になります。

【教育長】 ありがとうございます。では、質疑はございますか。

吉村委員。

【吉村教育長職務代理者】 質問が2つと、それから意見が3点と、あと要望が1点ございまして、質問は、今の教育長の御質問と関連があるんですけども、1点目の品川区の学力調査は、民間にお願いしてやっているということなので、ここに品川区と全国の比較がありますけれども、この全国は、品川がお願いした業者に参加した自治体が全国になっていると思うんです。この参加した自治体というのは、どれぐらいの数があるのかというのが、もし分かれば教えていただきたいのが1点。

2点目は、この品川区の学力定着度調査は、先ほどの3観点、知識・技能と思考力・判断力・表現力と学びに向かう力・人間性。この学びに向かう力・人間性をペーパーで見るといのはなかなか難しいと思うんですけども、恐らく知識・技能と、思考力・判断力・表現力が中心なのかなと思っているんですが、この品川の学力定着度調査の、要するに、観点はどんな形で行っているのかというのが、2点目の質問です。

それから、意見としては、まず1番。ちょっと先に品川区のほうのお話から言ったほうがいいかな。品川区のほうから言うと、今回クロス集計していただいて、この資料2になるんですね。この資料2の、上の右側に、「どの教科でも、学習したことを振り返る活動を行っていると思いますか」というのがあって、これが6年生と9年生がこの正答率とクロスしているということなんですけれども、今の学習指導要領はここを非常に重要視しているわけで、自分の学習の位置、メタ認知と教育用語では言っていますが、自分の学習の位

置をきちんと確認することが学習では大事なんだということなので、ここをやはり、このデータを毎年これからもきちんと見ていって、ここがやっぱり上がっていくように、自分の学習を振り返ることができるようになっていって、そのことで、やはり学力も向上していくということを狙っていくのが、すごくいいのかなというふうに思いました。それが意見の一つ目です。

意見の2つ目は、同じ資料2の下に、下の左側のほうなんですけれども、各教科のクロス集計があって、一番左が国語で、その隣が社会科になっているんですが、これ5、6、7、8、9と、上に上がっていくんですが、国語と社会に関しては7年生がちょっと落ちるんですよね。5、6、7で落ちて、そこからまた8、9と上がっていくという状況が見られるんです。

やはり、本区の場合には、小中一貫ということで、できれば、5、6、7、8、9と、お互いの小と中、前期と後期の部分の学力のことについて十分に共有して、これがなだらかに9年生に向けて、国語と社会については上がっていくようにするといいなというふうに思ったのが、意見の2つ目。

意見の3つ目は、これは全国学力状況調査なんですけれども、一番最後に、これの今、英語のお話があって、本区は英語、いろいろ力を入れて様々な取組をさせていただいているので、この真ん中のデータの一番右側に、英語の話すことというデータがあります。これは、ある意味、今まで品川が積み上げてきたことの成果なのかなというふうに思って、私は見ました。このA層が、全国に比べて10ポイントぐらい高いということです。B層も10ポイントぐらい高いんですよね。逆にC、D層は20ポイントぐらい低いんです。

つまり、品川の子供たちは、この英語の話すことという学力については、非常に成果が見られるんじゃないかなというふうに、この学力調査だけでは言えないかもしれませんが、そんなふうに思いました。

最後は、ぜひこれ、去年も要望させていただいたかもしれないんですけれども、この全国学力・学習状況調査については、質問紙があって、この質問紙の中に、結構興味深い項目があるんです。例えば、自己肯定感とか、それから学校への満足度とか、それから地域への参画についてとか。それから、いじめに関しても、児童生徒の意識が分かる項目があるので、全部はもうとても数が多いですけれども、例えば本区が大事にしているような項目に関しては、ちょっと紹介していただけるとありがたいなというふうに、私は思っております。

私が、今回ぱっと見た感じでは、家に置いてある書籍の数なんかを質問紙で聞いたりしているんですよね。これは、図書館なんかも関係あるかもしれないんですけれども、家にある書籍が大体絵でイラストでどれぐらいあるのかなんていう、そういう質問もあったので、結構興味深い内容があるなというふうに思っています。

以上です。

【教育長】 質問2点、意見3点、御要望を1点いただきました。

指導課長。

【指導課長】 では、まず御質問のほうからになります。1つ目の品川区の学力定着度調査への、この問題への他自治体の参加者数というところなんですけれども、こちらは非公開情報となっております、ここではちょっと申し上げることができないという

ところをお伝えさせていただくとともに、非公開となると、数が非常に少ないのではないかという御懸念もあるかなとは思いますが、こちらに関しては、研究分析をするだけの母数は取れているという御回答を業者のほうからいただいておりますので、そちらも併せてお伝えをさせていただければと思っております。

それから、2つ目としまして、立てつけ、こういったものを測っていくかという内容の部分なんですけれども、御指摘いただいたとおり、まず各教科についての知識・技能、そして思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度ということで、観点別に見せていただくと同時に、それぞれの教科の領域、単元というところで、どの程度何ができているかというところを同時に見ていくというようなものになっております。

御指摘いただいた学びに向かう力を、さらにここが難しいというところで見えていくために、今回は御案内していないのですけれども、今、東京都の調査のほうで、そちらのテーマで同じくやっているというところがございますので、ここと併せて、各学校では分析をしていくというようなところとなっております。

それから、御意見でいただきました、まず1つ目のメタ認知が非常に重要だということで、今回振り返るという活動を行っているお子さんほど、正答率が高いという傾向がございますので、こちらは、より授業の中でまず学習を御自身が、学習者本人が振り返るというところをしっかりと定着、習慣にさせていくということが大事になってくると思います。やはり、授業の時間というのは限られたものになっておりますので、学年が上がるほど、その習慣が自分の定着につながっていくというようなことが理想になってくるかと思っております。

それから2つ目の、一貫教育の視点で見たときの7年生の度合いが落ちていくというところについてですけれども、やはりこちらは、全体的にどの教科も、その視点をどう解決していくかというところを見ていかなければいけないかなと思っております。

特に、7年生をどうスタートさせていくのかというところが、極めて重要になってくると思いますので、その単元の指導計画ですとか、特に最初のスタート1、2時間目をどのように、6年間の学びの後の円滑な接続として成立できるのかというようなところで、研究をしてまいりたいと思っております。

そして、3つ目の英語教育ですけれども、様々な調査を行っておりますけれども、今回御案内したものについては、比較的よい結果が出ているかなというふうに思っております。

こちらについても、やはり英語教育というのは、お子さんのモチベーションというのが大変大事になってくると思いますので、そこをしっかりと支えられていくような教育施策を展開していきたいというふうに思っております。

最後の、例えば自己肯定感ですとか満足度、学校満足度ですとか、地域参画、いじめといった質問紙に関わることで、区として大事にしているものは何ですかというところで、私どものほうで注目をさせていただいているのが、昨年度も申し上げたのですが、これは、品川区の学力定着度調査の意識調査の中にある質問項目で、あなたは授業や日常生活の中で不思議だな、どうしてだろうと思ったことを調べていますか、という設問がございます。

こちらが、いつも調べている、大体調べている、あまり調べていない、そのままにしてしまうというような、4段階になるものなのですけれども、あまり調べていない、そのままにしてしまうと答えるお子さんが4割程度いらっしゃるというところがあります。こち

らと、やはり課題として挙げている教科、理科や社会ですね。こういったところとの関連があるのではないかとということで、昨年度来、ここに注目をさせていただいているところ
です。

ただ、大変よかった傾向としましては、4割程度そういったお子さんがいらっしゃるもの、全体でと
おして見たときに、この設問に対して、いつも調べている、大体調べているという肯定的な回答を
されているお子さんほど、やはり正答率が高いという傾向が見えておりまして、こちらが昨年度
よりも微増ということで、少しよい兆しがございます。

今後、学校の授業改善の中でこういったところをお子さんが意識して取り組めるようなア
プローチができれば、意識だけではなく、理科、社会の学力というところも上がって
いくのではないかなという想定の中で、引き続き研究をしてみたいと思っております。

以上でございます。

【教育長】 よろしいですか。

吉村委員。

【吉村教育長職務代理者】 ありがとうございます。

ぜひ、全国調査なので、質問紙、これは先ほど言った、学校への満足度とかいじめに
関することとか、品川の子供がほんとうに全国の中でどんな意識なのかというのはちょっと
興味があるので、機会があればぜひ紹介していただきたいと思っています。よろしくお願
いします。

【教育長】 では、ほかにございますか。

塚田委員。

【塚田委員】 全国の、8番、中学校英語「話すこと」について課題が見られたという
のがありますけれども、これは、いつも東京都で試験をやるときに、話すこと、スピー
キングに関して反対意見が出ていますよね。それはどういう理由からなんですか。私は、あ
まり理解できないんですけども。

【教育長】 指導課長。

【指導課長】 御質問いただいた意図としましては、今回の調査ではなく。

【塚田委員】 ではなくて、関連ですね。

【指導課長】 報道でなされている内容として、東京都教育委員会が主催をしている英
語スピーキングテストというものがございます。こちらについて、昨年度から9年生の入
試活用というところで、英語のスピーキングのテストに原則として全員が参加いただい
てという趣旨の下、行われているものとなっています。

御批判の内容というのは、恐らく、初めて入試活用というところで、英語の4技能の中
でも話すことを求められて、その制度的な部分、運用面ですとか、そういったところで、
なかなか周知が徹底していないところの中で混乱があったのかなというふうに、受け止め
ています。

ただ、品川区において、この本テストに関して、何か大きな問題があったというような
御報告はいただいているようです。

【塚田委員】 そうですか。

【指導課長】 はい。ですので、東京都教育委員会としても、初めての試みであった昨
年度のいろいろな振り返りを生かして、今年度はスムーズな連絡とか御案内というところ

を務めておられると思いますので、品川区としても、それを受けて、速やかにやっていきたいと思ひますし、11月の末にそれが予定されておりますので、継続してやっていきたいと思ひております。

【塚田委員】 了解しました。

【教育長】 今のは、報道による受け止め方ということですよ。東京都から何か通知があったわけではないということ。

【指導課長】 はい、そのとおりです。

【教育長】 分かりました。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、令和5年度品川区学力定着度調査及び令和5年度全国学力・学習状況調査の結果については、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】 では、本件は了承いたします。

次に、日程第5、報告事項8、いじめの重大事態の発生についてです。本件は、区の事務事業に係る意思形成過程における案件ですが、事務局としては、会議の扱いについてどのように考えますか。

教育総合支援センター長。

【教育総合支援センター長】 いじめの重大事態の発生について、につきましては、内容に個人情報が含まれており、個別のいじめ事案に関する協議、報告の場でもあります。したがって、公正または適正な意思決定を確保する観点から、非公開の会議とすることが適切であると判断いたします。

【教育長】 教育総合支援センター長より説明がありました。本件は、品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、非公開の会議とし、会議日程を変更し、全ての会議の終了後に会議を開くこととしますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【教育長】 異議なしと認め、本件については、そのように決定しました。

先ほど決定しましたとおり、非公開の会議を開きますので、傍聴の方は御退出願ひます。

— 了 —